

ころ

発行元 行田中央総合病院 広報委員会
埼玉県行田市富士見町 2-17-17
TEL 048 - 553 - 2000

発行責任者 川 島 治



病院 理念

- 私たちは「病気を診ずして病人を診よ」の精神で、心温まる生涯医療センターを目指します。
- 私たちは患者様のために最善を尽くすことに誇りを持ち、笑顔で活躍できる職場作りを目指します。

C O N T E N T S

- ➔ 院長挨拶
- ➔ 小児アレルギーエドゥケーターについて
- ➔ インフルエンザ予防接種について
- ➔ 外来診療担当医師一覧（R2.10.1現在）



★★ 病院と地域の方々を結ぶ広報誌 ★★

 行田中央総合病院



ホームページはこちら

<http://www.gcgh.jp/>



院長 川島 治

普段と違う冬 ~**熱**が出たらどうするか?~ 「予防」から「備え」を

今年の冬は例年同様インフルエンザの流行も想定され、現在の医療体制では増加する発熱患者様の急増の対応が難しくなることが危惧されます。

そこで皆さんにお願いしたいこと。



1 かかりつけ医を持ち普段から健康管理に努めること。

すべてはここから始まります。かかりつけ医のもとで**健診や健康管理を普段から**。そして喫煙者は是非禁煙☹を。

2 インフルエンザ予防接種の**予約**をお早めに。

高齢者や基礎疾患を持つ人が同居者にいる方は特に。但し、**急いで接種する必要はありません**。予防接種の感染抑止機能は長くて半年程度ともいわれています。

当院では 10 月 2 日(金)より高齢者(65 才以上)、10 月 26 日(月)より全年齢を対象として予防接種を開始致します。

3 発熱時は**突然来院せず**病院に**電話で連絡し**、指示に従ってください。

4 体調が心配で救急車を呼ぶか迷ったら 119 番の前に

⇒ **「#7119」(救急電話相談)**で相談してください。

すぐ医療機関が見てくれないからといって皆が救急車を呼んだら、市内に 4 台しかない救急車はすぐお手上げです。

今年の冬、発熱者はインフルエンザと新型コロナウイルスの検査を同時にすることが推奨されています。通常診療の間に、発熱者を診察して感染していない方にうつらないようにするのは…誘導員を用意して出入口を別にして動線を分ける。個人防護具を着用する。消毒、換気を行う…などなど、時間と手間がかかります。

そのため当院では、発熱外来の時間を一般診療と別に設定する予定です。ご自宅や病院駐車場の自家用車内でお待ちいただくこともありますのでご了承ください。



「**感染予防**」だけでなく、**なった時の「備え」**もお願いします。

小さな子供がいる。仕事が休めない。犬や猫がいる。

入院やホテル療養をお勧めしてもお断りされる方も多いのが現状です。

まさか!の時に…子供やペットは誰に頼むのか。仕事の段取りはどうするのか?今のうちから周囲の人と相談をしておいてくださいね。

私たち医療者は市内の連携医療機関・消防・行政と協力して地域の皆様の健康をお守りすべく頑張ります。

皆さんもご自分でできる備えをお願いします。



行田市医師会 PCR センター説明会



小児アレルギーエデュケーターの資格を取得しました

この度、小児アレルギーエデュケーター（pediatric allergy educator : PAE）の資格を取得しました。PAE は一般社団法人日本小児臨床アレルギー学会が認定している資格です。

小児アレルギーは最近では喘息を起因としたアトピー性皮膚炎や食物アレルギー、花粉症の患者様が増加しています。適切な治療を行なうには、ご本人やご家族が病気を理解し、そのうえで正しい治療方法を継続することが欠かせません。しかし、限られた診察時間中では、ご本人やご家族の疑問や知りたいことに医師からお答えするには限界があります。そのサポートをさせて頂くのが PAE の仕事です。

主な活動内容として

- ★ 体の洗い方や軟膏の正しい塗布の仕方
- ★ 気管支喘息の管理に必要な正しい吸入器の使用法や環境整備
- ★ 食物アレルギーの緊急時の対応やエピペン※の使用・管理方法

など、ご本人とご家族のライフスタイルに合わせた効果的なケアの提案や指導、アドバイスなどを行っていきます。

ひとりひとりの症状や環境などを、医師と連携しながらご本人やご家族をサポートしていけるよう努めていきます。アレルギーの相談がありましたらぜひお気軽に声をかけてください。また、学校や保育園などでアレルギー全般の勉強会もご要望があれば協力させていただきますのでご連絡ください。

※エピペンとは、ハチ刺傷、食物アレルギーなどによるアナフィラキシー（生命を脅かすほど重症化することがあるアレルギー反応）に対する緊急補助治療に使用される医薬品（注射薬）

外来看護師 倉川 理恵



インフルエンザ予防接種が始まります

今秋冬は、インフルエンザと新型コロナウイルスとが並走することが予想されています。接種ご希望の方は院内掲示をご覧くださいの上、お申し込みください

< 接種開始日 >

10月2日～

65 才以上の方(定期接種対象者)

上記以外の方は 10 月 26 日まで接種をお待ち下さい。

10月26日～

全年齢接種可能です。

行田中央総合病院 外来診療担当医師一覧 R2.10.1 現在

*** 診療時間** 【午前】 9時 ～ 12時 ※土曜日は全科 午前中^{のみ}の診療となります。
 【午後】 2時 ～ 5時 内科・小児科<月・火>
 3時 ～ 5時 外科・整形外科・形成外科・皮膚科・産婦人科・小児科<水・木・金>

診療科目		月	火	水	木	金	土
スマイル外来 (産婦人科)	午前	福庭一人	堀 慎一 ※10:00～	福庭一人	福庭一人	福庭一人	福庭一人
		佐原友妃子		明石廸之	吉田光典	吉田光典	今永兼良
	午後	福庭一人	堀 慎一	福庭一人	福庭一人	福庭一人	
		佐原友妃子			吉田光典	吉田光典	
女性外来	午後のみ	小林美紀 (要予約)					
内 科	午前 (専門)	院 長 (総 合)	院 長 (総 合)	院 長 (総 合)	院 長 (総 合)	院 長 (総 合)	院 長 (総 合)
		小林万寿夫 (漢方・腎臓)	柴田 駿 (呼吸器)	小林万寿夫 (漢方・腎臓)	井原憲一 (消化器)	大野隆行 (内分泌)	鳥井晋三 (循環器)※不定期
		堀切 文 (一般内科)	堀切 文 (一般内科)※10:00～	矢尾善英 (一般内科)	織戸宜子 (糖尿病)※9:30～	橋本和昌 (一般内科)	矢尾善英 (一般内科)
		院 長		院 長	院 長		院 長
	午後 (専門)	小林万寿夫 (漢方)	柴田 駿	小林万寿夫	井原憲一 ※～16:30	小林万寿夫	
		堀切 文		矢尾善英	織戸宜子 ※～16:30	大野隆行	
					清川道夫 (老年医学)※隔週	橋本和昌 (健診フォローアップ)	
外 科	午前 (専門)	宗澤利紀 (消化器)	安江英晴 (消化器・乳腺・肛門) ※9:30～	安江英晴 (消化器・乳腺・肛門) ※9:30～	安江英晴 (消化器・乳腺・肛門) ※第2・4週9:30～ 他休診	安江英晴 (消化器・乳腺・肛門) ※9:30～	慈恵医大
					瀧澤玲央 (血管) ※第1・3・5週のみ		
	午後 (専門)	宗澤利紀 (消化器)	高橋澄加 (消化器)	休 診	渡部篤史 (消化器・手掌多汗症)	星野真人 (上部消化管) ※第1・3・5週のみ 薄葉輝之 (肝胆臓脾) ※第2・4週のみ	
内 視 鏡		安江英晴	豊澤三郎	慈恵医大	渡部篤史	星野/薄葉	山田友春
整形外科	午前 (専門)	凌 ^{りん} 晨光 ※予約制	凌 ^{りん} 晨光 ※予約制	杉田直樹 (一般・スポーツ)	鈴木景子 (脊 椎)	山村則文 (脊 椎)	埼玉医大
		岡部裕一	山村則文				
	午後 (専門)	凌 晨光	凌 晨光 ※予約制	杉田直樹 (一般・スポーツ)	鈴木景子 (脊 椎)	山村則文 (脊 椎)	
		岡部裕一 (一般)	山村則文 (脊椎)				
形成外科	午後のみ			野嶋公博 (第4週のみ3:30～)			
皮 膚 科					北畠雅人		
小 児 科	(専門)	熊澤健介 (呼吸器・アレルギー)	田知本 寛 (アレルギー)	小林正久 (新生児・代謝・神経)	田邊行敏 (新生児)	鈴木詩央 (循環器)	慈恵医大
眼 科	午前のみ	石橋 健	石橋 健	石橋 健	石橋 健	石橋 健	石橋 健
特殊外来	午後のみ	禁煙・もの忘れ・頭痛外来 : 月・水・木曜日 午後 糖尿病透析予防外来 : 月曜日 午後 ダイエット外来 : 木曜日 午後 フットケア・骨粗しょう症外来 : 金曜日 午後 男性外来(ED・男性脱毛) : 土曜日 午後 いびき外来・ペイン外来 : お問い合わせください			《外科・整形外科》 外科(水曜日・金曜日 午後) 整形外科(木曜日・金曜日 午前) 手術のため臨時休診となる場合があります。 お電話にてお問い合わせの上、受診して下さい。		
要予約							